

## 《情報公開文書》

## もやもや病の手術成績に関する単施設での後ろ向き研究

## 研究の概要

## 【背景】

もやもや病は、日本人に多発する原因不明の進行性脳血管閉塞症であり、脳血管撮影検査で両側の内頸動脈終末部に狭窄ないしは閉塞とその周囲に異常血管網を認めます。家族性の発症を10～20%に認め、男女比は1：2.5で有病率は最近の検討では10万人に対して3～10.5人とされます。現在有効とされる治療手段は外科的治療のみであり、浅側頭動脈－中大脳動脈吻合術を中心とする直接血行再建術と側頭筋接着術を主に行う間接血行再建術、及び両者を併用した複合血行再建術があります。一方で具体的な手術方法に関しては施設間で異なり、またそれぞれの手術方法による治療成績や合併症発生率に関しては不明な点が多いです。アテローム血栓性脳梗塞に対する血行再建術と比較し、もやもや病における合併症は頻度が高いとされています。術前の神経症状の有無や脳血流の状態、また基礎疾患等の患者背景が手術に伴う合併症に影響を与える可能性があります。現時点では不明であり、本研究においては、その関連性を明らかにすることを目的としています。当院ではもやもや病に対する術式として複合血行再建術手術を選択しており、今回過去に当院で治療されたもやもや病患者のデータから、術前情報、手術加療による脳卒中予防効果や周術期合併症に関して評価を行い、今後のもやもや病治療の一助とすべく本研究を立案しています。

## 【目的】

本研究の目的は、単施設における術前情報と治療経過を評価し、その治療成績や治療経過、合併症発生の予測因子を明らかにすることを目的とします。

## 【意義】

手術法の改善や合併症予測基にした術前説明を可能とすることを旨し、もやもや病の患者に最適な治療の提供に貢献できると考えます。

## 【方法】

過去15年分の単施設における手術症例に関する情報を電子カルテより収集し、データファイルにまとめ、合併症の発生率、神経予後の評価、術前情報と合併症の関連性に関して統計学的に分析を行います。

## 対象となる患者さん

2009年1月1日から2024年12月31日に長崎大学病院脳神経外科でもやもや手術を受けた方

## 研究に用いる情報

### ●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

術前における以下の情報

- 患者背景：性別、年齢、身長、体重、既往歴、生活歴、家族歴、基礎疾患
- 自覚所見：神経症状の有無
- 臨床検査：血液検査（血算、生化学検査、凝固検査、免疫学的検査）、頭部 MRI 検査（虚血、出血の有無、発症時期、種類等）、SPECT 検査（CBF、CVR から血行動態等）、頭部単純 CT/造影 CT 検査/脳血管造影検査（血管構造、形状や動脈瘤、側副血行路の有無等）
- 併用薬：原疾患に係る薬剤使用の有無と薬剤名、用法・用量、服薬期間

入院中における以下情報

- 手術：術式、手術時間、出血量、麻酔時間
- 術後合併症の有無（合併症の種類や発症の時期等）

退院後の情報（フォローアップを行っている全期間、フォローアップ途中を含む）

- 外来経過：一過性脳虚血発作、虚血性、出血性脳卒中発生の有無、種類や発症の時期等

### 情報の利用開始予定日

本研究は 2025 年 3 月 27 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

### 研究実施期間

研究機関長の許可日～2026 年 3 月 31 日

### 研究実施体制

研究責任者

所属：長崎大学病院 脳神経外科  
氏名：近松 元気  
住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1  
電話：095 (819) 7375

情報の管理責任者

長崎大学病院 病院長

### 問い合わせ先

#### 【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 脳神経外科 担当者名 近松 元気

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095 (819) 7375 FAX 095 (819) 7375

#### 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200

受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）

